



《特別展示》

都市計画の国際交流百年

— 飯沼一省の米欧出張とその後の貢献 — (1892-1982)

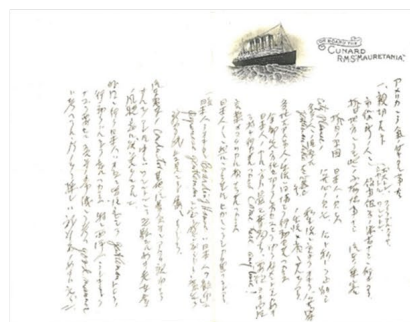
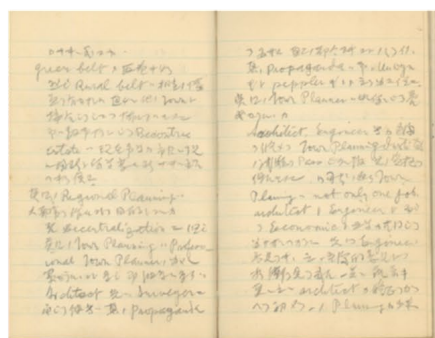
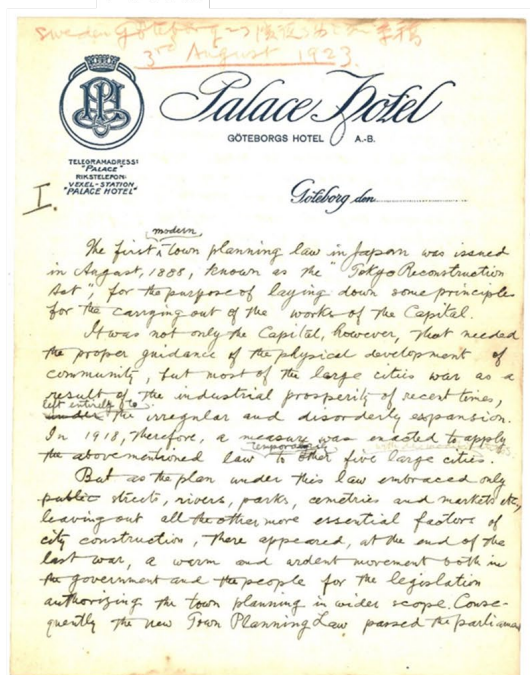
2023(令和5)年12月4日(月) — 2024(令和6)年3月29日(金)



建設産業図書館

東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階

開館時間 9時30分～16時30分
土日・休日・年末年始・特別整理期間は休館



公益財団法人 都市計画協会
建設産業図書館
(東日本建設業保証株式会社)

1923（大正12）年は、我が国の都市計画史上、

- 関東大震災が9月1日に発生し、首都の面目を一新し近代化する大規模な震災復興事業が展開することとなった年であるとともに、
- 7月1日に、都市計画制度の適用都市が、それまでの六大都市限定から、北は札幌から南は鹿児島までの31都市に拡大し、全国的制度としての歩みが始まり、追加25都市にとっては、今日に至る都市計画百年の起点となった年です。

また、海外との関係に目を向けると、

- 我が国の側から日本の都市計画への取組について発信し、国際的な交流が本格的に行われた年でもありました。

その契機となったのが、同年8月にスウェーデンで開催された国際田園都市・都市計画連盟（会長E. ハワード（田園都市提唱者））の国際都市計画会議において、日本を代表して出席した飯沼一省（当時内務省都市計画局事務官）から、日本の取組の報告を行ったことであり、報告者飯沼一省は、前後に米欧の都市計画家と積極的に交流しました。

我が国都市計画制度のキーパーソンとして活躍した飯沼の都市計画分野におけるキャリア、そして都市計画の国際交流史百年の起点となったその1923年米欧出張に関する資料の一部は、現在、飯沼が長らく会長職にあった公益財団法人都市計画協会に所蔵されています。

この展示は、同協会所蔵資料の紹介とともに、建設産業図書館所蔵の飯沼の著書等を用いて、飯沼の米欧出張における体験とその後の業績—我が国都市計画制度発展と国際交流への貢献を回顧するものです。

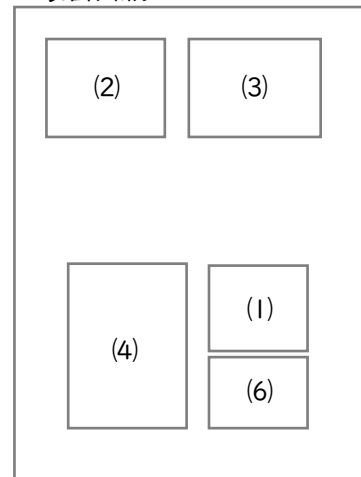


●主な展示

- (1)出張中の日記・記録を記した手帳・ノート
- (2)内務大臣からの国際都市計画会議出席命令電報
- (3)国際都市計画会議・博覧会入場証
- (4)国際都市計画会議日本代表報告原稿
- (5)国際都市計画会議報告書
- (6)未発表の手稿「アメリカ感想録」
- (7)第20回世界都市計画の日メッセージ

※実物の展示のほか、デジタル化した資料内容も館内パソコンで閲覧視聴可能です。

表面図版



建設産業図書館

建設産業の昨日・今日・明日が見えてくる



当図書館は、東日本建設業保証(株)の創立50周年記念事業として、2002年秋に開設された建設産業を中心テーマとする専門図書館です。

INFORMATION

開館時間 9時30分～16時30分
休館日 土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間
利用料金 無料
所在地 〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階
TEL 03-3545-5129 FAX 03-3545-5141
URL <https://www.ejcs.co.jp/library/>
E-mail lib@ejcs.co.jp

[交通のごあんない]



- 都営大江戸線「築地市場駅」A2出口より徒歩5分
 - 都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留駅」より徒歩5分
 - JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋駅」より徒歩10分
 - 東京メトロ日比谷線「築地駅」より徒歩10分
- *駐車場はございません。